

編集 石心会グループ

発行人：石井 映禧 編集長：辻田 征男 副編集長：西山 瑞樹

〒212-0013 川崎市幸区堀川町 580 ソリッドスクエア東館 4 階

TEL.044-511-2266 (代) FAX.044-540-1135 http://www.sekishinkai.or.jp

「重症救急病床確保のための署名活動」報告 ～川崎市議会に請願を行いました～

川崎幸病院、川崎市議会に請願

10月3日、川崎幸病院は82,735人の署名簿を添付して、川崎市議会に対し、鎗木茂哉議員(自由民主党)の紹介で、請願を行いました。(請願書①)。市議会では、10月4日の本会議において、10月中に予定されている「健康福祉委員会」に付託し、採択の可否を問う事を決定しました。

川崎市幸区町内会連合会も別途請願

また、「川崎市幸区町内会連合会(代表副会長安岡信一氏)」に於いては、全ての会派の議員団長が紹介者となり、別途請願を行いました。

請願の趣旨は「川崎市は、川崎市重症救急対応病院の公募に関して、幸区内の病院を唯一の対応病院(重症救急ベッド62床)として指定いただくため、川崎市地域医療審議会での公平で公正な審議並びに一層の審議促進を求め請願いたします。」となっており、私達の要望を後押しして頂いておりますが、同時に、市長の諮問機関である川崎市地域医療審議会が幸区の置かれた状況に則して公平で公正な審議を行って欲しいことを要望しています。

また、重症救急病床の審議の一層の審議促進をも要望していますが、この意味するところは、今回の川崎市の募集要項が、応募病院の病床稼働率の実績を過年度実績でなく、過年度に未達成であっても今年度中に達成すれば良いとする変則的な要綱になっている為、実際にもう一つの応募病院の今年度末の実績が出るまで決定できない状況に陥っている事です。

その為、重症救急病床の実現の遅滞を懸念し、地域医療審議会と行政の迅速な処理を要望し、この要望が採用されない場合には今回の募集要項が適切であったかどうかを問題にする姿勢を示しています。(請願書②)。

請願書①

請願書 第 24 号
2011 年 10 月 3 日

紹介議員 鎗木茂哉

請願の趣旨
川崎幸病院は救急車の搬送を受け付けているが、川崎市内には、川崎幸病院と川崎中央病院の2つの救急医療機関があり、川崎幸病院は、川崎幸地区の救急医療機関として指定されている。川崎幸地区の救急医療機関として指定されている川崎幸病院は、川崎幸地区の救急医療機関として指定されている。川崎幸地区の救急医療機関として指定されている川崎幸病院は、川崎幸地区の救急医療機関として指定されている。

請願の理由
1. 川崎幸地区の救急医療機関として指定されている川崎幸病院は、川崎幸地区の救急医療機関として指定されている。川崎幸地区の救急医療機関として指定されている川崎幸病院は、川崎幸地区の救急医療機関として指定されている。川崎幸地区の救急医療機関として指定されている川崎幸病院は、川崎幸地区の救急医療機関として指定されている。

請願者の希望
川崎幸地区の救急医療機関として指定されている川崎幸病院は、川崎幸地区の救急医療機関として指定されている。川崎幸地区の救急医療機関として指定されている川崎幸病院は、川崎幸地区の救急医療機関として指定されている。川崎幸地区の救急医療機関として指定されている川崎幸病院は、川崎幸地区の救急医療機関として指定されている。

請願書②

請願書
平成23年 月 日

紹介議員 浅野文道 菅原進 東正則 竹内幸一 小田理恵子

川崎幸地区の救急医療機関として指定されている川崎幸病院は、川崎幸地区の救急医療機関として指定されている。川崎幸地区の救急医療機関として指定されている川崎幸病院は、川崎幸地区の救急医療機関として指定されている。川崎幸地区の救急医療機関として指定されている川崎幸病院は、川崎幸地区の救急医療機関として指定されている。

請願の趣旨
川崎幸地区の救急医療機関として指定されている川崎幸病院は、川崎幸地区の救急医療機関として指定されている。川崎幸地区の救急医療機関として指定されている川崎幸病院は、川崎幸地区の救急医療機関として指定されている。川崎幸地区の救急医療機関として指定されている川崎幸病院は、川崎幸地区の救急医療機関として指定されている。

請願の理由
川崎幸地区の救急医療機関として指定されている川崎幸病院は、川崎幸地区の救急医療機関として指定されている。川崎幸地区の救急医療機関として指定されている川崎幸病院は、川崎幸地区の救急医療機関として指定されている。川崎幸地区の救急医療機関として指定されている川崎幸病院は、川崎幸地区の救急医療機関として指定されている。

請願書は川崎幸病院ホームページにて掲載中です。
http://www.sekishinkai.or.jp/saiwaihp/

文責：辻田 征男

本誌タイトル『海燕』は、M.ゴーリキーの散文集『海燕の歌』(1901)に由来しています。その大意は以下のとおりであり、石心会のイノベーションマインドの象徴として採用しました。

……暗鬱な雲がたれこめ、雷鳴が轟く空と海、戸惑い騒ぐばかりの陽らの群れを尻目に、
海燕は激しく飛び交い、暗雲と雷鳴を切り裂いて一直線に飛翔する。



「頼れる病院」特集で川崎幸病院が全国民間病院3位

川崎幸病院が
週刊ダイヤモンド(2011/10/29号)
「頼れる病院2012」に全国の民間病院で
第3位にランクインしました。

■大学病院をしのぐ病院機能

いわゆるブランド病院が上位を独占する中、203床の川崎幸病院が民間病院(私立大学病院を含む)ランキングで全国第3位にランクインしました。医療法人立としては全国1位です。また公的病院を含めても東日本で第10位、全国で第17位にランクインしています。

これで、川崎幸病院は大学病院に「ひけをとらない」どころか、大学病院をしのぐ病院機能を有すると評価されたことになります。

■評価指標

調査内容は、ダイヤモンド社が2010年度の実績を基に、医療機能と経営状態を採点し、12指標の合計点数でランキングされています。

●医療機能8指標

「診療科目数」「医師数」「専門医数」
「看護師配置数」「医療スタッフ数」
「医療施設(集中治療室等)」「患者紹介率」「災害拠点病院」

●経営状態4指標

「病床利用率」「平均在院日数」「人件費率」「経常収支比率」

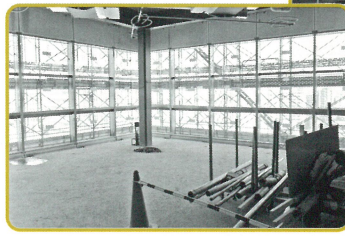
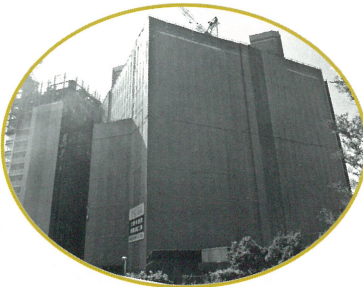
■新設の指標

今回の調査から「医療スタッフ数」「患者紹介率」「災害拠点病院」の3指標が新たに加わりました。「医療スタッフ数」では、コ・メディカル部門の充実とそれに伴うチーム医療の充実を、「患者紹介率」では「地域に密着した医療」も大きく評価されたこととなります。



川崎幸病院新築移転計画・工事進捗

新川崎幸病院の完成が近づいています。
今号は、新病院の内部の工事進捗を
ご紹介します。
新病院へのイメージと期待が膨らみます。



★1 屋上テラスからの眺め

★2 川崎駅前が見渡せるデイルーム

～2012年版 週刊ダイヤモンド誌 病院ランキング～

資料は週刊ダイヤモンド(2011/10/29号)より

西日本病院ランキング			
順位	病院名	都道府県	得点合計
1	関西医科大学枚方病院	大阪府	95
1	鳥取大学病院	鳥取県	95
3	広島大学病院	広島県	94
3	済生会熊本病院	熊本県	94
3	産業医科大学病院	福岡県	94
3	倉敷中央病院	岡山県	94
3	兵庫医科大学病院	兵庫県	94
8	九州大学病院	福岡県	93
9	近畿大学病院	大阪府	92
9	神戸大学病院	兵庫県	92
11	京都大学病院	京都府	91
11	九州医療センター	福岡県	91
11	高知大学病院	高知県	91
11	神戸市立中央市民病院	兵庫県	91
11	大阪大学病院	大阪府	91
11	富山大学病院	富山県	91
17	愛媛大学病院	愛媛県	90
17	高槻病院	大阪府	90
17	佐賀大学病院	佐賀県	90
17	淀川キリスト教病院	大阪府	90

5. 医療スタッフ 5点満点 以下の医療スタッフの数が100床当たりカッコ内の数値以上ならそれぞれ1点とし、合計した。ただし最高5点。 理学療法士(3.2人) 作業療法士(1.7人) 言語聴覚士(0.6人) 診療放射線技師(2.8人) 臨床工学技士(1.0人) 管理栄養士(1.2人) 医療ソーシャルワーカー(1.0人) ▶多いほど医療スタッフが充実している。	6. 施設・設備 5点満点 集中治療室(ICU) 新生児集中治療室(NICU) 冠動脈専用集中治療室(CCU) 無菌治療室のうち保有する数 4.....5点 3.....4点 2.....3点 1.....2点 なし.....0点 ▶救命救急に対応できる施設・設備があれば、治療の効果をより上げることができる。
7. 紹介率 5点満点 80%以上.....5点 60%以上.....4点 40%以上.....3点 40%未満または不明.....2点 ▶高いほど他の病院からの紹介や、救急患者の受け入れが多く頼りになる。	8. 災害拠点病院 2点満点 該当する.....2点 該当しない.....0点 ▶災害への対応力が高く、被災地域内の傷病者の受け入れ・搬出ができる体制を取っている。

東日本病院ランキング			
順位	病院名	都道府県	得点合計
1	東海大学病院	神奈川県	98
2	順天堂大学順天堂医院	東京都	96
2	聖路加国際病院	東京都	96
4	横浜市立大学市民総合医療センター	神奈川県	94
4	慶應義塾大学病院	東京都	94
4	自治医科大学病院	栃木県	94
4	東京慈恵医科大学病院	東京都	94
4	東京大学病院	東京都	94
4	東邦大学医療センター大森病院	東京都	94
10	埼玉医科大学国際医療センター	埼玉県	93
10	埼玉医科大学病院	埼玉県	93
10	聖マリアンナ医科大学病院	神奈川県	93
10	川崎幸病院	神奈川県	93
14	横浜市立大学病院	神奈川県	92
14	済生会横浜市東部病院	神奈川県	92
14	順天堂大学練馬病院	東京都	92
14	信州大学病院	長野県	92
14	千葉大学病院	千葉県	92
14	東京女子医科大学八千代医療センター	千葉県	92
20	日本赤十字社医療センターほか5病院*	東京都ほか	91

9. 病床利用率 10点満点 一般病床の病床利用率 90%以上.....10点 80%以上.....8点 70%以上.....5点 70%未満.....3点 ▶80%以上ないと経営が厳しい。	10. 平均在院日数 10点満点 15日未満.....10点 20日未満.....8点 30日未満.....5点 30日以上.....3点 ▶日数が短ければ、ベッドの回転率が上がる。診療単価も高くなる。
11. 人件費率 10点満点 50%未満.....10点 60%未満.....8点 70%未満.....5点 80%未満.....3点 80%以上.....1点 *人件費率=職員給与費÷医療収益 ▶病院の最大の経費。50%が基準で60%を超えると経営が厳しい。	12. 経常収支比率 10点満点 100%以上.....10点 90%以上.....8点 80%以上.....5点 70%以上.....3点 70%未満.....1点 *経常収支比率=(医療収益+医療外収益)÷(医療費用+医療外費用) *自治体病院は実質収益対経常費用比率を採用。実質収益対経常費用比率=(医療収益+医療外収益-一般会計からの繰入金)÷(医療費用+医療外費用) ▶100%で収支トントン。100%を下回ると経営は厳しい。

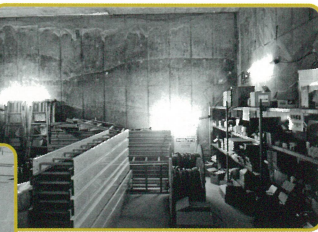
★1 屋上庭園	厨房・売店・ラウンジ
★2 病棟(HCU含)	
● 病棟(SCU含)	
● 病棟(CCU含)	
★2 病棟(ICU・ACU含)	
透析・ICU・CE・リハビリ	
医局・各管理部門・大会議室・図書室	
★3 手術・中材	
画像診断・生理検体病理検査・アンギオ・内視鏡・剖検	
★4 ER・外来・X線・医事・地域連携・化療・SPD・薬剤	
★5 放射線治療・防災センター	ピロティー・駐輪場・バイク置場・立体駐車場入口



★3 7つの手術室を備えた手術フロア



★4 新病院の核=ER

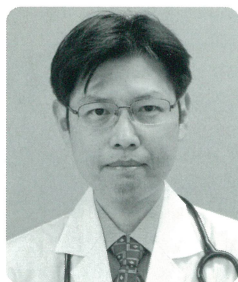


★5 放射線治療室内部



立川新緑クリニック 後藤 和宏院長就任

9月1日付けにて、後藤和宏先生が立川新緑クリニック院長に就任しました。



立川新緑クリニック
後藤 和宏 院長

後藤院長座右の銘：

物事にこだわりを持つが、ひとつ事にこだわらない

その言葉のとおり、脳神経外科医としての専門性を追求しながらも、急性期、回復期リハ、老健と、医療の川上から川下まで広く経験されてきました。一方では、情報処理技術者、調理師免許、宅建の資格も有し、医師としてだけではなく人間としての「幅」を広げることに積極的です。「その幅の広さが実際の診療に活かしてくる」と後藤院長はおっしゃいます。

経歴

1988年3月 慶應義塾大学医学部卒業
1988年4月 慶應義塾大学医学部外科学教室入局
1989年5月 済生会宇都宮病院脳神経外科
1990年5月 足利赤十字病院脳神経外科
1991年5月 慶應義塾大学医学部脳神経外科
1995年5月 慶應義塾大学病院救急部(専任医)
1996年5月 国立栃木病院脳神経外科(医長)
2001年5月 日野市立病院脳神経外科(部長)
2007年1月 介護老人保健施設いちいの杜(施設長)
2009年7月 羽村三慶病院(診療部長)

■職員こそが立川新緑クリニックの自慢

当クリニックは、建物も決してきれいとは言えず、交通の便も悪いなどハード面は不利な点が多々あります。しかし、常に患者さんに親切に接する職員こそが当クリニックの強みです。一番の自慢です。

■地域の潜在的なニーズに応えたい

今後は往診に力を入れていくとともに、「頭痛外来」、「物忘れ外来」などの特殊外来も始めたいと考えます。特に、認知症にお困りだどこに受診すべきか分からずに受診を躊躇されている方も多いと思います。診療の敷居を低くすることで、地域の潜在的な悩みを解消できるのではないかと思います。

■医師としての哲学

医療の特異性として、「医療と患者の間の情報格差」の存在があります。私は「その情報格差を埋めるのが医師の役目だ」と信じています。また患者さんが望む治療よりもベターな治療があれば、それを薦めるのが医療です。例えるなら、「なすを買いにきた患者さんに、にんじんを買ってもらう」のが医療です。患者さん個々の理解のレベルに合わせて、治療方針を十分に

理解いただき、納得して「にんじん」を買ってもらう。そのためには「幅の広い対話」で患者さんの心を開くことが肝心です。



■青写真

今、目の前にいる患者さん一人ひとりを大切にし、できることに全力で取り組むことで夢は現実になります。職員一丸となり、ハード面でもソフト面でもより充実したクリニックにしています。

一つひとつの言葉に後藤院長の医療に対する信念と哲学が表れています。



高齢化と重症化が進む透析施設の現状

さいわい鹿島田クリニック透析室長 木暮 照子 医師



さいわい鹿島田クリニック
木暮 照子 透析室長

透析施設の抱える課題とそれに対するさいわい鹿島田クリニックの取り組みを、9月16日付けにてさいわい鹿島田クリニック透析室長に就任された木暮医師にお話を聞きました。

■透析施設が抱える問題

～進む患者の高齢化と重症化～

当クリニックも他の透析施設同様かそれ以上の速度で透析患者さんの高齢化、重症化が進んでいます。併せて、国の「在宅医療の推進」の方針の影響もあるのか、本来であれば療養型の入院透析治療が望ましい患者さんも、外来透析施設で受け入れなければならないのが現状です。その状況の中「いかに患者さんが安全に透析治療を続けていけるようにしていくか」が大きな課題です。

■全職種が一丸となって

「ご家族がいない」、「ADLの著しい低下」などの理由で、治療以前に、日常生活や通院さえも困難な患者さんが増えています。このような患者さんには送迎対応はもちろんですが、看護師、技師、ソーシャルワーカー、事務など各職種が一丸となり、各自のできる領域で、患者さん個々にとってのベストな対策を考えています。このように患者さんが治療に専念できる環境をつくることも、「大切な治療の一環」としてクリニック全体で積極的に取り組んでおります。

■初診から透析導入後まで一貫した治療を

当クリニックには腎臓内科の外来もあります。初診から保存期、透析導入後まで一貫性のある連続した治療を提供できるのが当クリニックの強みです。治療を一つの施設で継続してできることは、患者さんにも大きな安心感を与えます。

高齢化、重症化が進む中、患者さんの小さな変化にもいち早く気づき、適切な治療や検査を行えるよう、「きめ細かさ」をもって一人ひとりの患者さんに向き合っていきます。



第39回 ヘルシーコンサート 「デュオ・カラヴィンカ」

★ 日時 9月17日(土) 18:30～19:30
★ 会場 さやま総合クリニック3階ピアノホール
★ 参加 70名

★ 出演 丹下 聡子(フルート)
加藤 希央(ピアノ)
★ 曲目 J.Sバッハ:「ソナタBWV 1035」
J.Sバッハ:「アヴェ・マリア」
V.モンティ:「チャールダーシュ」
O.メシアン:「黒つぐみ」 他

◆演奏家プロフィール

丹下 聡子 (Tange Saroko)

神奈川県出身。4歳よりピアノを、13歳よりフルートを始める。神奈川県立弥栄高等学校音楽コース卒業。かながわ学生音楽コンクールにて奨励賞受賞。愛知県立芸術大学音楽学部卒業。同大学大学院修了。中部読売新人演奏会出演。第7回ながのアスペン音楽祭にて音楽賞受賞。翌年、奨学金を得てアメリカ・コロラド州アスペン音楽祭に参加。ソロリサイタルを愛知県小坂井町、名古屋市で開催。これまでに、ムラマツフルートレッスンセンター(名古屋)、桜丘高等学校音楽科(豊橋)にて講師を務める。2011年4月より神奈川県相模原市在住。自宅と愛知県豊川市でフルートを教えるほか、演奏活動も行っている。現在、愛知県立芸術大学大学院博士後期課程在学中。



加藤 希央 (Kato Kio)

愛知県立芸術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。ロンドン・マスタークラス・ディプロマ取得。ロンドンでの暮らしに、音楽を超え広くロマン派を考えるきっかけを得る。帰国後、東京および名古屋にてソロ・リサイタル開催。文学的・絵画的背景を持つ作品をテーマに演奏活動を続ける。現在、愛知学泉大学、至学館大学非常勤講師。せきがはら人間村財団文化顧問。

第40回 ヘルシーコンサート 「ファゴットの調べ」

★ 日時 10月8日(土) 18:30～20:00
★ 会場 さやま総合クリニック3階ピアノホール
★ 参加 50名

★ 出演 福井 弘泰(ファゴット)
倉石 歩(ファゴット)
杉田 翔(ファゴット)
赤木 舞(ピアノ)
★ 曲目 シューマン:「幻想小曲集」
N.ガロン:「レチタティーヴォとアレグロ」
チェイス:「3つのワルツ」
マルチネス:「タンゴ」 他

◆演奏家プロフィール

福井 弘泰 (Fukui Hiroyasu)

北海道出身。2006年昭和音楽大学を優等賞を得て卒業。在学中に昭和音楽大学管弦楽部とフランゼ作曲「11の弦楽器とファゴットののための協奏曲」を共演。津山国際総合音楽祭では作陽学園管弦楽団と、かながわフレッシュコンサートでは神奈川フィルハーモニー管弦楽団とモーツァルトのファゴット協奏曲を共演。第7回津山国際総合音楽祭ダブルリードコンクール第1位、第20回宝塚ベガ音楽コンクール・木管部門第2位、第24・27回日本管打楽器コンクール・ファゴット部門第2位をそれぞれ受賞。ファゴットを一戸哲、太田茂、水間博明の各氏に師事。2010年より東京佼成ウインドオーケストラファゴット奏者。

杉田 賞 (Sugita Shō)

神奈川県出身。ファゴットを17歳から始める。昭和音楽大学音楽学部器楽学科弦管打楽器コース卒業。ファゴットを山下伸介、太田茂の両氏に、室内楽を黒田隆、太田茂、樋口哲生の両氏に師事。



倉石 歩 (Kuraishi Ayumu)

新潟県上越市出身。2008年、昭和音楽大学器楽科卒業。2010年、同大学院音楽研究科修了。第40回国際芸術連盟新人オーディション室内楽部門に最高位を得て合格。第9回日本アンサンブルコンクール室内楽部門にて最高位を受賞。第9回大阪国際音楽コンクール室内楽部門にてエスポール賞を受賞。ファゴットと室内楽を太田茂、K.Oハルトマンの両氏に、室内楽を菅野博文、関口仁、樋口哲生、増村修次、早稲田真理の各氏に師事。現在、フリーの演奏家として室内楽、吹奏楽指導を中心に活動、また編曲活動も盛んに行っている。

赤木 舞 (Akagi Mai)

大阪府出身。米国イーストマン音楽院ピアノ専攻および同大学院修士課程修了。東京芸術大学大学院音楽研究科応用音楽学専攻博士課程修了。NY カーネギーホールでのソロ演奏をはじめ、中国四川省成都にて招聘演奏を行うなど、国内外で演奏活動を行っている。現在、昭和音楽大学音楽芸術運営学科専任講師。(財)地域創造「公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業」コーディネーター。2006年より「ヘルシーコンサート」の企画を担当している。

ヘルシーコンサートのいわれ

2003年3月、狭山総合クリニックの院長に就任した青山医師(現 副理事長兼狭山地区統括院長)が、クリニックを診療の場としてだけでなく、地域の人たちの文化的な交流の場にしたいと考え、私財でピアノを購入して提供するとともに、毎週土曜日の午後からピアノ演奏を主体にした「ヘルシーコンサート」を開催することを決めました。ホームページにも紹介していますが、このピアノは世界最高峰といわれる「スタインウェイ アンド サンズ」のコンサート用グランドピアノで、2000年のショパンコンクールで圧倒的な実力で一位優勝した中国のピアニスト ユンディ・リ が練習用に愛用したものです。



石心会グループの活動 (2011年7～9月)

川崎幸病院

- 7月 7日 初期臨床研修病院合同説明会『レジナビフェア2011』(於)東京ビッグサイト
- 7月15日 総合防災訓練実施
- 7月23日 納涼祭(川崎幸病院・川崎幸クリニック・中原分院合同開催)
- 8月8日～9月9日 重症救急ベッド確保のための街頭署名活動(延べ21日)
- 8月20日 総合防災訓練実施
- 8月27日 うるおいコンサート 女性アンサンブル(4名)(於)リハビリテーション室
- 8月31日 平成23年度医療監視実施
- 9月 1日 2階南病棟217号室(4床) ハイケアユニット加算申請
- 9月12日 新川崎幸病院躯体工事前棟
- 9月17日 防災講演会『医療施設における大規模災害対策』

(於)味の素健保会館
講師:NPO法人 災害サポートおぢや理事
元 小千谷総合病院看護部長 / 佐藤 和美氏

- 9月17日 川崎幸病院医療連携の会 (於)川崎日航ホテル

【市民健康講座】

- 7月 2日 『メタボより怖い国民病“腎不全”をご存じですか』
主催:川崎区桜木町内会 (於)桜木福祉会館
講師:腎臓内科部長 / 中島 豊 参加者36名
- 9月 6日 『ここまで進んだ内視鏡検査・治療』
～もう苦しくない!胃カメラ・大腸カメラ～
講師:消化器内科副部長・内視鏡統括医師 / 大前 芳男
(於)ミューザ川崎 参加者176名

- 9月17日 『健康に過ごす食事のとり方』
講師:管理栄養士 / 高橋 香佳、加藤 真理子
主催:南幸町1丁目都町町内会 (於)南幸町1丁目町内会館 参加者23名

【救急隊勉強会】

- 7月11日 『当院における脳血管内治療』
講師:副院長・脳血管センター長兼脳血管内治療科部長 / 津村 貢太郎
(於)研修室 参加者25名
- 9月27・30日 『循環器疾患の搬送患者の症例報告と胸痛について』
講師:循環器内科医師 / 高橋 英雄
(於)研修室 参加者(27日)17名、(30日)44名

【NST勉強会】

- 7月27日 『食べる事の意味 ～経腸栄養を中心に～』
講師:消化器内科医長 / 藤原 裕之 (於)研修室 参加者37名
- 9月 9日 『オーエス・ワン(OS1) ～術前経口補水法について～』
講師:大塚製薬工場から (於)研修室 参加者17名
- 9月22日 『栄養と輸液』
講師:薬剤科 / 服部 愛子 (於)研修室 参加者 6名

川崎幸病院中原分院

- 7月12・14日 『炎症性腸疾患について』
講師:杏林製薬(株) 参加者 延16名
- 8月25日、9月8日 『前立腺肥大症について』
講師:キッセイ薬品(株) 参加者 延19名
- 9月15・20日 『患者接遇』 講師:第一三共(株) 参加者 延20名
- 9月27日 『TDM(抗MRSA薬/バンコマイシンTDMを中心に)を理解するために』
講師:Meiji Seikaファルマ(株) 参加者4名

川崎幸クリニック

- 7月14・15・16日 『医療安全研修会』
講師:川崎幸病院 医療安全管理室 / 今村室長 参加者114名
- 7月20日 第99回気功教室 講師:臨床心理士 / 稲富 正治 参加者 6名
- 7月19日 認知症の方の家族の会 参加者6名
- 9月20日 “ ” 参加者6名
- 7月26日、8月5日 感染対策委員会定例勉強会『感染性胃腸炎について』
講師:幸区役所 保健福祉センター / 岩佐医師 参加者96名
- 8月 6日 糖尿病公開講座 参加者5名
- 8月24・26・30日 リスクマネージメント委員会『一番コールド シミュレーション』

アルファメディック・クリニック

- 7月 6日 人間ドック健診施設機能評価 参加者12名
- 8月25・26日 第52回日本人間ドック学会学術大会(大阪) 参加者 7名

川崎健診クリニック

- 8月25・26日 第52回人間ドック学会学術大会 会場大阪 参加者6名
- 9月10日 株式会社ビー・エム・エル 第11回首都圏ラボラトリーフォーラム 参加者 1名
- 9月11日 アスリード株式会社 乳房超音波検査を学ぼう!2011 参加者 2名

狭山病院

- 7月 6日 狭山市長選挙不在者投票 21人の方が投票されました。
- 7月12日 新看護師寮起工式 平成24年2月完成予定(56室)
- 7月14・15日 第61回日本病院学会 9演題発表
 - 『待機手術患者の喫煙状況と今後の展望』
～術前禁煙リーフレットを配布して～ 発表者:手術室 / 加藤 恵
 - 『栄養サポートチーム(NST)内における看護部の活動』
～NST介入患者の追跡から～ 発表者:看護副部長 / 福島 俊江
 - 『褥瘡対策チームによる院内発生予防に対する取り組み』
発表者:看護科長 / 大原 絹代
 - 『地域医療支援システムの導入と効果 ～地域完結型医療に向けて～』
発表者:地域医療連携室 / 清原 絵美
 - 『NST加算算定の現状と問題点』 発表者:栄養室係長 / 秋山 好美
 - 『石心会狭山病院におけるインシデント・アクシデントレポートの提出数の増加に対する取り組みとその傾向』
発表者:医療安全課係長 / 浦田 広明
 - 『複数分析データ等から読み取る当院の現状及び今後の展望に関する考察』
発表者:診療情報管理室係長 / 高田 賀将
 - 『ICTへの参画 ～検体検査室の活動から細菌室稼働へ～』
発表者:検体検査室 / 田中 深平
 - 『ICTラウンド開始後の血液培養提出状況 ～コンタミネーションとの鑑別～』
発表者:検体検査室長 / 矢部 恭代

- 7月23日 狭山地区事業所納涼祭
各部署から21店舗の模擬店を出店し、多くの方が来場されました。
- 7月27日 埼玉県知事選挙不在者投票 34人の方が投票されました。

【院内勉強会】

- 7月 1日 『第61回日本病院学会 予演会』 参加者104名
- 7月 8日 『感染対策の基礎』 参加者 53名
- 7月19日 『生活習慣病(3回目) 脳血管障害』 参加者 74名
- 7月25日 『急性期脳梗塞に対するrt-PA静脈療法』 参加者105名
- 7月27日 『エビデンスに基づいたチームトレーニング:チームSTEPS』
参加者 99名
- 8月17日 『第52回日本人間ドック学会 予演会』 参加者 42名
- 8月23日 『チームステップス①』 参加者 75名
- 8月30日 『第5回がんサバイバーボード狭山』 参加者 57名
- 8月31日 『がん看護研修(1回目)がん化学療法看護の基礎知識と外来化学療法の実際』 参加者 55名

- 9月2・8・14・20・26日
『新規採用となる「フェントステープ(麻薬)」の製品説明』 参加者計229名
- 9月 9日 『褥瘡について学ぶ』 参加者 63名
- 9月20日 『生活習慣病(4回目) 高血圧』 参加者 60名
- 9月27日 『チームステップス②』 参加者 57名
- 【地域医療連携セミナー・公開カンファレンス】
- 7月26日 『小腸疾患診断におけるカプセル内視鏡の役割』
～当院での試みと適応について～
講師:内科副部長 / 原 明史 参加者117名
- 8月26日 『C T検査の新時代 ～320列C Tの可能性～』
講師:放射線室長 / 間山 金太郎
『320列C Tの臨床経験』 講師:循環器科 / 入江 寿光
参加者115名
- 9月28日 『乳癌化学療法の有害事象について』
講師:外科副部長 / 児玉 ひとみ 参加者86名

【狭山市市民公開講座】

- 7月16日 『ロコモティブシンドロームの考え方と対策』
～ひび・こし・ほねと健康長寿～
講師:伊奈病院整形外科部長 / 石橋 英明 参加者152名

- 【東京家政大学共催 公開講座】『生活習慣病を知らう!』
- 5月26日 『医療費～病気を治すためにいくらかかるの?～』
講師:MSW室長 / 柴崎 陽子
地域医療連携室 / 弦巻 美絵子
医療秘書課長 / 渋谷 千穂

- 6月 9日 『治療食アラカルト～病院で提供される治療食の紹介』
講師:栄養室長 大川清生理検査室長 / 藤山 真由美
- 6月23日 『家庭でできる運動療法～リハビリテーションについて』
講師:リハビリテーション室係長 / 武者 ひとみ
- 7月14日 『サプリメントと知っておきたい家庭の薬』
(病気を治す薬と栄養剤の違い)』
講師:薬剤室係長 / 小倉 弥生
- 7月21日 『まとめ:具体的な疾患・症例について』
講師:さやま総合クリニック健診センター長 / 大塚 博紀

さやま総合クリニック

- 糖尿病教室
10月 6日 『食品表示について』講師:管理栄養士 / 山上 千春 参加者20名
- 健康教室
9月22日 『狭心症・心筋梗塞について学ぼう』
講師:循環器医師 / 川俣 哲也 参加者40名

川崎クリニック

- 7月12日 コスト管理Iについての勉強会 参加者 44名
- 7月19日 透析患者の心理についての勉強会 参加者 29名
- 8月 9日 手指衛生についての勉強会 参加者 40名
- 9月 6日 糖尿病性腎症についての勉強会 参加者 20名
- 9月20日 フットケアについての勉強会 参加者 14名

さやま腎クリニック

- 【院内勉強会】 (開催場所) さやま腎クリニック 3階パントリー
- 7月12日 『平成23年度チャレンジシート発表会』
講師、演者:事務長 / 吉田、看護科長 / 高萩、CE室長 / 佐々木
参加人数25名
- 7月15日 『コミュニケーションについて』
講師、演者:協和発酵キリン / 早水氏 参加人数25名
- 7月26日 『K Y T勉強会』
講師、演者:医療安全課 / 荒木コーディネーター 参加人数25名
- 8月 4日 『在宅呼吸器説明会』
講師、演者:帝人 / 永田氏 参加人数36名
- 9月15日 『エルカルチン説明会』
講師、演者:大塚製薬 / 松崎氏 参加人数23名
- 9月26日 『B L S講習』
講師、演者:池田院長 参加人数25名

【イベント】

- 7月19・20日 患者向け勉強会『血液検査結果の見方』
(於) さやま総合クリニック5階会議室
講師、演者:看護科 / 松田看護師 参加人数19日21名、20日36名
- 9月25日 泉会(患者会)創設20周年記念式典
(於) ニックス 参加人数 職員16名
- 9月26日 救急シミュレーション『除水ショック対応』
(於) さやま腎クリニック2階 参加人数25名

さいわい鹿島田クリニック

【院内勉強会】

- 7月 1日 『コストについて』 参加者36名
- 7月22日 『手洗い勉強会』 参加者31名
- 8月19日 『透析掻痒症のケア①』 参加者26名
- 8月26日 『カルニチン欠乏症』 参加者28名
- 8月31日 『医療相談依頼システムの利用法』 参加者21名
- 9月 1日 『透析掻痒症のケア②』 参加者22名
- 9月 9日 『ビュア/バリア勉強会』 参加者25名
- 9月16日 『フットケア勉強会①』 参加者21名
- 9月20日 『HPVワクチン『ガーダシル』勉強会』 参加者17名

昭島腎クリニック

【職員勉強会】

- 7月28日 『人工臓透析用剤キンダリーの検討』
講師:扶桑薬品 参加者28名
- 8月 4日 『カーボスター透析剤の検討』
講師:味の素製薬 参加者30名

【透析患者さん勉強会】

- 8月26・27日 『透析患者さんの災害対策』ビデオ上映会 参加者79名
- 9月30日 『検査データの見方・基礎知識』
講師:昭島腎クリニック臨床検査技師 / 岩崎 参加者35名

新緑脳神経外科

- 9月8日 院内勉強会開催
講演① 『リハビリテーション科における患者満足度分析2011』
講師:リハビリテーション科 / 池上 直宏
- 講演② 『訪問リハ効果認識の変化 ～アンケート調査より～』
講師:訪問リハビリテーション課 / 高塚 琴絵
- 講演③ 『インシデント報告と対策について』
講師:院長 / 横田 尚樹 参加者 36名
- 9月24日 防災訓練(14:00～15:30)
①火災時の避難誘導
②救出訓練(担架及び車椅子使用)
③初期消火訓練
④緊急連絡網の実施訓練 参加者 20名

立川新緑クリニック

- 9月 1日 後藤 和宏院長 就任

立川介護老人保健施設 わかば

【勉強会(施設内)】

- 8月24日 『介護保険について』『地震対策について』 参加者 31名
- 9月8・15・27・28・30日(5日間) 『危険予知トレーニング』 参加者職員全員
- 【施設行事】
- 7月30日 納涼祭 参加者 施設利用者、近隣住民
- 9月18日 敬老会 デイケア85歳以上 参加者 27名
入所対象者 90歳以上、及び祝年 延41名

立川市北部東わかば地域包括支援センター

【地域活動】

- 7月22日、8月12日、9月9日 さかえ男の台所
講師:わかば管理栄養士 (於) 幸学習館 参加者 延55名
- 7月16日 若葉町男性のための料理教室 (於) 若葉会館 参加者 15名
- 7月4日、8月1日、9月5日 豊生会交流会(月例介護学習会)
(於) 豊生会館 参加者 延64名
- 9月24日 スマイル食事サロン(高齢者孤食防止)
(於) たけの屋店舗 参加者 延42名
- 7月13・14日 認知症サポーター養成講座
(於) けやき台団地集会所、立川市グリーンセンター 参加者延100名
なかよしサロン(高齢者孤食防止食事会)
(於) 東栄会集会所 参加者 延30名
- 8月18日 若葉町5区懇談会
(自治会・管理事務所・民生委員・地域コーディネーター・包括)
- 毎木曜日 わかば麻雀サロン(障害者や高齢者)
(於) 老健わかば2F地域交流ルーム 参加者 延91名
- 毎月曜日 わかばいきいき体操
(於) 老健わかば2F地域交流ルーム 参加者 延63名

【その他各講習会】

- 『介護保険について』 『地域包括の利用の仕方』
- 『脱水症状・熱中症について』 『介護予防・軽体操・回想法』
- 『階段支えあい体制について』 『運動機能向上について』
- 『バステル絵画会』 以上延べ11日 (於) 各自治会、集会所等 参加者 延113名

狭山市入間川・入間川東地域包括支援センター

【地域活動】

- 7月 1日 『鶴ノ木第5集会場のサロン』 (於) 鶴ノ木第5集会所 参加者 18名
- 7月4日、8月1・11日、9月5・6日
入間川地区民生委員・入間川東地区民生委員との定例情報交換会
(於) 狭山市立入間川小学校・狭山市社会福祉会館・スペースさずな
参加者 延101名
- 7月14日、9月8日 『青空サロン』
(於) 鶴ノ木第5集会場・鶴ノ木運動公園 参加者 延 31名
- 7月14日 『ふれあいサロンこぶし』 (於) 田中公民館 参加者 13名
- 7月15日 『第5回運営推進会議』 (於) 第二つつじの園 参加者 16名
- 8月12日、9月27日 『介護予防イベント』
(於) 菅原1丁目自治会館・祇園自治会館 参加者 延58名
- 7月21日、9月15日 『日常生活圏域会議(第3回・第4回)』
(於) 入間川・入間川東地域包括支援センター 参加者 延34名

【ミニ講座】

- 7月28日午前・午後 『熱中症予防・脱水症予防・水分補給の方法等について』
(於) 田中公民館・コミュニティセンター 参加者 延19名

【出前講座】

- 7月6・20日 『今夏、脱水にならないように水分補給の方法を学ぶ』
(於) 祇園自治会館・コミュニティセンター) 参加者 延20名

特別養護老人ホーム オリーブ

- 7月11日～13日 山王中学校2年 体験学習 5名受入
- 6月28日～7月7日 西武文理大学看護学部 臨地実習 5名受入
- 7月12日～22日 西武文理大学看護学部 臨地実習 5名受入
- 7月26日～28日 堀兼中学校 2年 体験学習 6名受入
- 8月 3日 出前 青空サロン 参加者 25名
※青空サロンとは…青空のもと、公演等で「話す・聞く」「身体を動かす」「頭脳を働かす」とおとして健康づくりをし、「元気で長生きに」を目的とした野外のたまり場。
- 8月 7日 オリーブ納涼祭 参加者160名
- 8月15日～19日 武蔵野音楽大学 教員免許取得実習 1名受入
- 8月28日 第1回オリーブ見学会
(今回から毎月第4日曜日に見学会を行うこととしました)
※見学会の目的…もっとオリーブのことを知ってもらう。ボランティアを増やす。
- 8月29日～9月2日 東京国際大学 教員免許実習 1名受入
- 9月 1日 大正琴 美咲会 参加者62名
- 9月 5日～10月 4日 埼玉福祉専門学校 介護福祉科1年次実習 2名受入
- 9月 8日～10月10日 埼玉福祉専門学校 社会福祉科2年次実習 2名受入
- 9月15日 あおば幼稚園 園児との交流 各フロアにて歌の披露
- 9月19日 敬老会 参加者123名

「海燕 52 号」に関する訂正のお知らせ

職員各位

11 月 1 日発行の海燕 52 号のトピックス 1 (20 3 ページ) の記事の中に一部誤りがございました。下記のように訂正をさせていただきます。ご理解の程お願い致します。

誤 (2 頁 2 行目): 「私立大学病院を含む」

訂正: 「私立大学病院は含まず」

誤 (2 頁 4 行目): 「公的病院を含めても」

訂正: 「国公立病院、公的病院、私立大学病院など全ての病院を含んだランキングでも」

誤 (2 頁 70 8 行目)

訂正: 「これで、いわゆるブランド病院や大学病院などと肩を並べたと評価されたことになります。」



「頼れる病院」特集で川崎幸病院

川崎幸病院が
週刊ダイヤモンド(2011/10/29号)
「頼れる病院2012」に全国の民間病院で
第3位にランクインしました。

■大学病院にも匹敵する病院機能

いわゆるブランド病院が上位を独占する中、203床の川崎幸病院が民間病院(私立大学病院は含まず)ランキングで全国第3位にランクインしました。医療法人立としては全国1位です。また国公立病院、公的病院、私立大学病院など全ての病院を含んだランキングでも東日本で第10位、全国で第17位にランクインしています。

これで、いわゆるブランド病院や大学病院などと肩を並べたと評価されたことになります。

全国	
順位	病院
1	聖路加
2	倉敷中
3	川崎幸
4	手稲溪
5	亀田総
5	高槻病
5	淀川キ
8	北野病
9	刈谷豊
9	大阪警
9	麻生飯
12	近森病
12	聖隷浜
12	相澤病
15	戸田中
15	戸畑共
15	松本中

以上

11 月 7 日

本部事務局広報室 西山 瑞樹